

評価項目		評価基準
1. 広報内容の評価		
総合的な評価	制作目的と理解度	・制作目的やターゲット層等を適切に理解したコンセプトになっているか。
		・提案内容は、訴求ポイントを的確、適切にとらえたものになっているか。
企画内容の評価	制作内容の妥当性、独創性	・仕様書記載の制作内容についてすべて提案されているか。
		・提案内容が、魅力的内容になっているか。
	制作方法の妥当性、独創性	・ターゲットの興味を喚起することができる内容になっているか。
		・構成やデザインがターゲットに対して、新規性、独自性あるいは注目を集め、目的達成のための具体的な提案がされているか。
	制作計画の妥当性、効率性	・手法、日程等に無理がなく、目的に沿った計画性・実現性はあるか。
		・目的達成のための具体的な活用法、手法等について提案がされているか。
2. 実施体制等の評価		
業務遂行能力の評価	類似制作業務の経験	・過去に同様な制作物を最低1回は制作しているか。
		・過去に同様の制作を豊富にしているか。
	組織としての制作実施能力	・事業が遂行可能な高いスキルの人員確保・体制となっているか。また、制作内容に関する経験・知識・知見を持っているか。
経費	経費の妥当性	・内訳がコストに対し不自然でなく、適切であるか。